

公明ひらつか



小さな声を大切に
希望あふれる街ひらつかへ

岡崎 通子 議員

中東情勢による 中小企業支援策

問 我が公明党が全国で実施したアンケート調査では、約97%の中小企業が原油高の影響を受けていることが確認された。緊急的な支援策を早期に講じるべきと考えるが、見解を伺う。

市長 今年度から、コスト上昇による価格交渉が進められるよう、アドバイザーを派遣する相談支援を始めたほか、売り上げが減少した中小企業へ資金を支援する制度融資や相談窓口に加え、中小企業を柔軟に支援する体制を整えている。

ユマニチュードの 普及啓発について

問 ユマニチュードの導入に対する見解と、市民や介護職員がユマニチュードを学ぶ機会を設けることについて伺う。

福祉部長 日頃から認知症

会議録検索のご利用を

市議会ホームページの会議録検索では、日程や発言者などから簡単に検索することができます。



多様なスポーツに 親しめる環境づくり

問 小学生から初めて「無理だ」と思うが、サッカーの練習ができる壁を作った。このほか、スケートボードやBMXなどアーバンスポーツの練習場所を望む声も若者から寄せられている。子どもや若者の挑戦したい思いを受け止め、環境を整えていくことは、こ

れからのまちづくりに大変重要であると考えているが、見解を伺う。

社会教育部長 身近にスポーツ環境があることは、スポーツをするきっかけに影響すると考えるが、現在はスポーツが多様化してい

介護職場支援

問 介護助手の導入支援について伺う。

副市長 介護保険制度の改正で、介護助手の配置による加算が算定可能となり、事業所の収入増加と経営安定化のほか、職員の処遇改善につながるが期待される。資格がなくても従事可能な業務について、市ホームページで周知するほか、介護事業所を紹介する冊子には、介護助手の募集情報を掲載している。またハローワーク平塚と共催で就職説明会を開催し、介護助手の募集を行うなど、導入支援を行っている。

問 有償ボランティアのマッチングサービス「スケッター」の評価について伺う。

副市長 人手不足の解消や職員の負担軽減になったと高評価の一方で、事務負担があるとの意見もあった。

エレベーターの保守 管理などについて

問 他市では競争入札の導入や、契約内容の見直しに

るため、市内で全ての種類の環境を整えることは難しいと考えている。市外の近隣施設や、県内の状況などを情報提供し、スポーツをする機会の周知に努めている。

介護・地域・暮らしを守る



上野 仁志 議員

問 若い人の就労につながるスケッターなども十分検討してはどうか。

福祉部長 地域と福祉事業所をつなぐ仕組みとして、スケッターは有効だが、利用の際には利用者負担があることに事業所は課題を感じている。まずは、事業所にこの仕組みのメリットを感じてもらうことが必要のため、事業所の会合などで、スケッターの仕組みを紹介していきたい。

空家対策

問 緊急代執行を行う条件について伺う。

まちづくり政策部長 緊急に除却や修繕、周辺の生活環境の保全を図るために必要がある場合である。

問 市民に緊急代執行が必要な場合を公表すべきと思うが、いかがか。

まちづくり政策部長 情報収集ができた段階で、公表していきたい。

より、20%から40%程度のコスト削減につながった事例もある。コスト削減についての見解を伺う。

総務部長 安全の確保を最優先に、事業者の選定方法や契約内容について、施設を管理する部署間で情報共有するなど、連携して研究していく。

▼このほかの質問 ことも誰でも通園制度

物価高騰と入札対応

問 下位等級の発注基準額が400万円未満である妥当性を見直しの考えについて伺う。

総務部長 本市は他市に比べ、土木工事の事業者数が多く、一律に比較はできないが、昨今の資材価格の高騰や人材不足なども踏まえ、庁内で協議し、見直しに向け検討していく。

問 市内事業者の受注機会の確保について伺う。

総務部長 より多くの事業

命を守るまちづくりの推進



石田 美雪 議員

問 被災後の復興に備える事前復興まちづくり計画の取り組み状況と、平塚市都市マスタープラン（第3次）に組み入れることへの見解を伺う。

まちづくり政策部長 令和5年に国のパートナー都市に登録し、研修会への参加や情報収集を行っており、都市マスタープランの策定

と並行して進めていく。

問 デジタル技術を用いてまちを立体的に表す、3D都市モデルを導入することへの考えを伺う。

まちづくり政策部長 3D都市モデルは、地域とまちづくりを進める場面などで有効な技術だと認識している。他自治体の事例などを研究し、検討していく。

議会図書室のご案内

議会には、議員の調査研究のため、図書室の設置が法律により義務付けられています。

本市議会では開かれた議会とするため、議場前の開放したスペースに議会図書室を設け、市民・議会・行政が共同で利用できる環境をつくりました。

議会図書室には、市の行政資料や地方自治の政策に関する書籍・雑誌などがあります。また、会議録や議会だよりを配架し、情報発信に努めています。

ご利用いただける時間は、午前8時30分から午後5時までの間となります。市役所にお越しの際には是非お立ち寄りください。



声や点字の 議会だより

目の不自由な方に市議会の活動をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

ご希望の方は議会局までご連絡ください。

問い合わせ
議会局 ☎21-8791



問 学ぶことへの喜びや意欲を育む取り組み、また、主体的に学びを選択する教育実践は、どのように推進しているのか伺う。

学校教育部長 各学校では、学ぶことへの喜びや意欲を育み、学びが日常生活に生きる授業づくりに取り組んでいる。また、児童生徒が自ら課題を設定し、他者との対話や協働を通して新たな課題を設定する授業を目指し取り組んでいる。

問 学校のルールづくりに子どもの意見を反映することについて見解を伺う。

学校教育部長 成長や自立を促すために重要だと考える。多様な意見を尊重しつつ合意形成を図り、ルール

公明ひらつか 所属議員



五十嵐 豊 議員



秋澤 雅久 議員